

事務事業名		簡易水道施設改良事業			会計	簡易水道				
H27担当課等名		水道課		H27係等名	維持係		H26係等名	維持係		
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	簡易水道事業水道施設				対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	適正に簡易水道施設を改良することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る					簡易水道事業数		1	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	クリプト対策済み・対策不用給水人口率(%) = 対策済み・対策不用給水人口 / 給水人口			99	99	99	99		
	成果指標	給水人口(計画給水人口2,070人:H23変更認可)			2100	2100	2100	2070		
	定性目標									
事業概要	<p>原水よりクリプトスポリジウムにおける指標菌が検出された水源について処理施設の建設及び他地区からの連絡管の布設を行い、また、他事業に関連した水道施設の移設・布設替え工事、老朽化等に伴う施設の改良・更新工事を実施することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。                  指標菌が検出された水源については施設改良工事が完了するまでは原水浄水維持管理事業により定期的に原水水質等管理する。</p>									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	ろ過施設設置工事(池口)・膜ろ過ユニット・遠方監視システム 一式 第2水源改良工事				浄水場新設 水源改良			一式 一式		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		7,413	20,000	21,136	11,000					
国庫支出金										
県支出金										
起債			10,000	10,000	8,000					
その他		189	97	5,464						
一般財源		7,224	9,903	5,672	3,000					
人件費計(千円)②		2,575		2,575						
正規職員所要時間		720		720						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		9,988	20,000	23,711	11,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	第2水源改良工事(深井戸)を進めて結果、水質、水量とも期待していた数値が確保できた。このことにより、クリプト対策として設置計画のあった濾過機が不要となり、経費の節減につながった。									
改革改善の考え方	①問題点	今後、クリプトスポリジウム・ジアルジア対策としてろ過施設の設置を予定しているが、建設費用が高価である。								
	②改革提案	ろ過施設に頼らず、安全な原水取水の調査を進め、事業費の縮小を図る。								